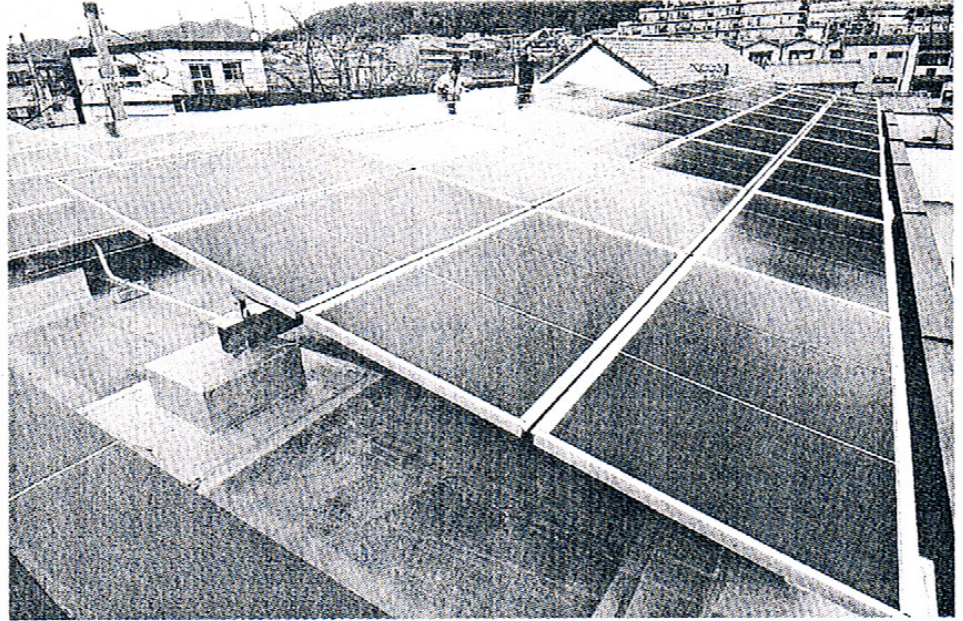


大宅児童館の屋上に設置されたソーラーパネル。発電のほか、環境に優しい活動を紹介する際にも活用する(京都市山科区)



## 太陽光の大切さ知って

### 山科の大宅児童館

# 環境学習に活用

# ソーラーパネル設置

京都市山科区の大宅児童館にこのほど、太陽光を利用して発電するソーラーパネルが完成した。館を運営する社会福祉法人大宅保育園の活動の一環。同園で電気を利用するほか、地域の人たちにも見ってもらい、地元の環境学習に役立てるといふ。

大宅保育園では、廃油やペットボトルなどの回収活動のほか、アサガオやゴーヤーで作るグリーンカーテン、

「インファンド」と連携して設置した。同法人の太陽光発電設備「おひさま発電所」の設置事業を生かし、昨年11月から工事を進めていた。

子どもたちの環境意識の向上に取り組んでいる。ソーラーパネル設置は、同市下京区のNPO法人「きようとグリ

発電量と1日分の積算発電量、二酸化炭素の排出削減量を数字で表示する表示板も付けた。児童館や保育園を訪れる人にも公開し、電気ができる仕組みなどを説明するという。

保育園長で児童館長の山手重信さん(63)は「環境保全の取り組みを身近に感じ、エネルギーの大切さを知ってほしい」と話す。

(山田修裕)